

『恋人たちのクリスマス（サンタはいつも独りぼっち）』

◇登場人物

・為吾郎（ためごろう）

・豊（ゆたか）

ケーキ屋の店内。

店内のテーブル席に腰掛けている豊。店内の内装やインテリア等を眺めている様子。足下には紙袋が置いてある。そこに、オーナーの為吾郎がやってくる。

為吾郎 え？ 豊？

豊 おう。

為吾郎 何？ お客さんってアンタ？

豊 悪い悪い。忙しそうだね。

為吾郎 本当よ。あんたね、今日はパティシエにとって一年で一番忙しい

日なのよ？ パタパタしてるんだから。

豊（店内を見渡し）ここが為吾郎の店か。

為吾郎 その呼び方やめて！ こじやタメタメで通ってるの。

豊 なんか、思ったよりシンプルな作りだな。ケーキ屋さんだから、もつところキラビやかな感じかと思ったよ。

為吾郎 あんまりチャラチャラしたくないのよ・・・で、何？ 用がないなら戻るよ？

豊 今じゃ超がつくほどの人気店だからな。

為吾郎 だからさ！

豊 悪い悪い。冗談だよ。

為吾郎 もう・・・いつまでもフラフラしてらんないの。死ぬ程ケーキの注文が入ってて、ピリピリしてんだから。

豊 ごめん、すぐ終わるから。あのさ（にやにや）。

為吾郎 なにニヤニヤしてんのよ。

豊 あのさ・・・俺、彼女ができそう。

為吾郎 え？ マジ？ マジマジ？

豊 今夜、デートなんだよ。

為吾郎 やったじゃん！ お前、ウハウハじゃん！

豊 なんか、緊張しちやって。

為吾郎 ドキドキ？ ねえ、ドキドキ？

豊 ドキドキ。

為吾郎 そっかあ・・・どうしよう。私までムラムラしてきちゃった。

豊 別に俺はムラムラしてないよ。

為吾郎 やばい、そわそわしてきた・・・え、でも、ちよつと待って。あ、んた、わざわざそのこと言いに来たの？

豊 うん。

為吾郎 こんなバタバタしてる中？

豊 うん。

為吾郎 なにお前、ニヨロニヨロじゃん。

豊 なんだよニヨロニヨロって。

為吾郎 もうそろそろ行くよ？ バイバイするよ？（立ち上がる）

豊 待ってよ。バイバイしないよ。クリスマスケーキ買いたんだよ。今

日のデートで、二人で食べたいんだよ。

為吾郎 ……マジマジ？

豊 マジ。

為吾郎 マジマジ？

豊 マジ。

為吾郎 マジマジ！（強要）

豊（しばらく嫌がるも、諦めて）マジマジ。

為吾郎（再び椅子に座る）そっかあ、マジマジかあ。なんだよ、バイバ

イするんじゃない。

豊 しないって。

為吾郎 違う、ケーキケーキ！ ケーキ買うんでしょ？

豊 え？ ああ、そっちの売買ね。

為吾郎 そうかあ、お前も売買するかあ。

為吾郎、立ち上がり、ケーキのディスプレイを豊に見せる。

豊、為吾郎の側に立ち、陳列されたケーキを眺めている。

為吾郎 なにがいい？ ガンガン決めていいよ？

豊 うーん。どれも美味しそうだな。女の子が好きそうだ。

為吾郎 当たり前でしょ。女の子が、こんなの貰ったらキュンキュンしち

やうな、っていう基準で作ってるのよ。

豊 お前女じゃないじゃん。

為吾郎 うるさい！ お前本当ブヨブヨ。

豊 ブヨブヨじゃないよ。

為吾郎（あるケーキを指し）これなんかどう？

豊（覗き込み）どれどれ？

為吾郎（豊を見て）あつ！

豊（少しはにかむ）

為吾郎 これはね、イチゴのショートショート。

豊 うまいの？

為吾郎 当たり前じゃない。生地はフワフワで、外はネチヨネチヨ。

豊（他のものを指し）これは？

為吾郎 これはね、モンモンブランブラン。

豊 変な名前。

為吾郎 中はネチヨネチヨで、外はグチャグチャ。栗使ってるの。あ、栗

栗使ってるの。

豊 どれにしようかな。あり過ぎて選べないよ。

為吾郎 ペロペロして決めたら？

豊 え？

為吾郎 待ってて。持ってくるから。

為吾郎、店の奥に消える。

豊、ディスプレイを眺めている。

為吾郎、トレイにケーキを載せて出てくる。

為吾郎 はい（テーブルに置く）。ペロペロしてみ？

豊（首をひねりながら食べてみる）

為吾郎 ちよつと！ ペロペロって言ったじゃん！

豊 へ？ 舐めろってこと？

為吾郎 なにモグモグしてんのよ！ 齧っちゃったら売れないじゃないやない！

豊 売ろうとしてたのかよ！

為吾郎 ウチはセコセコしてんのよ！

豊 でも、うまいよこのケーキ！

為吾郎 でしょ？ これね、生地に餡子が入ってるの。

豊 あ、本当だ！ 言われてみれば。ちようどいい甘さだ。

為吾郎 でしょ？ あんまり餡子餡子してないでしょ？ ほら、もっと食べ（無理矢理食べさせる）。

豊 ちよつと・・・（モグモグ）。

為吾郎 どう？ 餡子餡子してる？ 餡子餡子してない？

豊 餡子餡子してないよ。

為吾郎 でしょ？ ノーノー餡子餡子でしょ？

豊 よくわかんないけど・・・（他のケーキを見ながら）この緑色のやつは、抹茶？

為吾郎 キヤベツ。

豊 キヤベツ？

為吾郎 食べてみて（無理矢理食べさせる）。

豊（いやいやモグモグ）

為吾郎 どうキヤベツキヤベツしてる？ してない？

豊 してない。キヤベツキヤベツしてない。

為吾郎 斬新でしょこれ！ ケーキにキヤベツ使うなんて、多分世界初だよ！

豊 またこれも変な名前つけてんの？

為吾郎 これはね、ロールキヤベツ。

豊 もうあるよ！

為吾郎 嘘！ どの店？

豊 いや、どこかじゃなくて・・・。

為吾郎 ちくしょう・・・。

豊 でもうまいよ、このロールキヤベツ。これにするよ。

為吾郎 ダメよ！ 豊の一世一代のデートの日に、こんな二番煎じのケーキじゃ！

豊 タメタメ・・・お前・・・。

為吾郎 私たち、友達でしょ？

豊（怪訝な顔で）え・・・？

為吾郎 俺だけ？！・・・ビックリして俺って言っちゃった。え？！

豊 冗談だよ。

為吾郎 お前本当ビチャビチャ。

豊（ヘラヘラしながら）ごめんごめん。

為吾郎 あんた、今夜はガツガツいくんでしょ？

豊 ガツガツ？

為吾郎 だから、バリバリにオラオラして、ゴリゴリするんでしょ？

豊 何言ってるんだよ。

為吾郎 告白するんでしょ？

豊 最初からそう言えよ。

為吾郎（芝居モード）『タメ子さん、僕と、ラブラブしてください』『ユタユタ』

豊 でも今日は早いよ。

為吾郎 何言ってるんのよ。今日を逃したら、また一年待たなきゃなんないのよ？

豊 別にクリスマスじゃなくても告白はできるだろ。

為吾郎 あんたね・・・このケーキには愛の魔法がかかってんのよ。これを利用しない手はないじゃない。

豊 いや、でも今日が初デートなんだよ？

為吾郎 あんたそれでも男？ 代わりに私がしてあげようか？

豊 だめだよ。何言ってるんだよ。

為吾郎 (聞いていない) タメ子さん、俺・・・。

豊 ちなみに由香里ちゃんね (呆れた様子で為吾郎を見つめる)。

為吾郎 『由香里ちゃん、俺は、由香里ちゃんのが好きだ』『豊さん・・・嬉しい。私のどこが好き？』『全部好きだよ』『ちゃんとやって』『だから全部だって』『じゃあ全部言ってる』『わかった。言うよ？ 由香里ちゃん、クリクリした瞳。サラサラな髪。スベスベな肌。ペチャペチャの鼻。ポテポテした唇。スカスカの歯並び。ジョリジョリしたヒゲ』

豊 ストップ！

為吾郎 なによ！

豊 悪意がある。

為吾郎 見たまんま言ってるのよ！

豊 見たことないだろ！

為吾郎 (豊の方の上辺りを指しながら) 見えんのよ。

豊 嘘つけよ！

為吾郎 『トゲトゲしい性格。キラキラした欲望。ペラペラな人生。バラ

バラな価値観。僕たちは、別々の道を歩もう』

豊 ちよっと！

為吾郎 今度はなに？

豊 別れの言葉になっちゃってるじゃないか！

為吾郎 あ、本当だ。

豊 まだ付き合ってもないのに。

為吾郎 いいじゃない。人つてのはね、別れる為に出会うんだから！

豊 嫌だよ！

為吾郎 冗談よ。どれにするか決めたの？

豊 だからこのロールキャベツだよ。

為吾郎 いいのね？

豊 うん。

為吾郎、立ち上がりディスプレイへと歩き、そこからロールキャベツを取り出して箱に詰めている。

為吾郎 このケーキさ、女の子たちにスゴい人気なの。その、由香里ちゃんて子もさ、きつと喜んでくれると思うな。

為吾郎、ケーキの入った箱を袋にいれ、豊に手渡す。

豊 うん。ありがとう。

為吾郎 ああゝあ。私もケーキ欲しいなあゝ。

豊 いっぱいあるじゃん。

為吾郎 違うわよ！ 私さ、こうして毎日ケーキ作ってるけど、これは全

部、誰かの為なの。私のケーキを食べた人が、笑顔になって、幸せな

気分になってくれたら、パティシエとしてこれ以上の喜びはないわ。

でもね、女としては……。

豊 男じゃん。

為吾郎 うるさい。男としても女としても、ケーキを作るだけってのは、

やっぱり寂しいかな……。

豊 ケーキ、貰ったら嬉しい？

為吾郎 当たり前じゃない！ メラメラ嬉しいよ。

豊 そうか……。

豊、テーブルの横に置いてあった紙袋を為吾郎に手渡す。

為吾郎 え？ なに？ なにこれ。

豊 クリスマスケーキ。為吾郎にあげようと思って作ったんだ。いつも贈
ってばかりだから、たまには貰いたいだろうなって。

為吾郎（半泣きで）なにお前。ポロポロだよ（涙をふく）。

豊 良かった、喜んでもらえて。（腕時計を見て）あ、もう行かなきゃ。（ケ
ーキを掲げ）ありがとね。

豊、店を出て行く。

為吾郎（豊が去った後を見つめながら）なにあいつ。

貰った紙袋からケーキを取り出し、一口齧る。

為吾郎 マズッ！ ゲロゲロだよ。（去った豊に）お前金払えよ。

照明 F・O

了